

番号	資料名	年月日	備考
519	覚 (材木代銀)	辰.10.16	材木屋米八→大工仁左衛門
520	乍恐奉願口上 (土佐守様御目見)	巳. 2	上林春松→青木忠右衛門
521	奉願口上覚 (茶料古金銀につき)	巳. 2	谷村与兵衛他→萩野周悦老
522	奉願口上之覚 (御用再開につき)	巳. 7	上林春松→三雲甚右衛門(端裏書)「芸州へ願書控」
523	乍恐奉願上候口上 (相続につき)	巳.11	→上林又兵衛・上林六郎
524	御定式御茶料 (本丸・富田御用)	巳.12	
525	乍憚口上 (御宿入用につき)	午. 2	十一人→上林又兵衛
526	覚 (銀子受取)	午. 5.11	上林左仲内平尾作右衛門他→上林春松老
527	覚 (諸入用)	午. 5.17	伏見屋吉右衛門→上林春松代中村惣左衛門
528	覚 御定式御壺□代銀積り書	午.10	上林→阿淡御役所
529	覚 (拝借金高につき)	午.10	御物御茶師惣代上林春松他→上林門太郎・上林内記
530	乍恐奉願口上 (扶持米につき)	午.11	上林春松→岩田甚作
531	口上之覚 (味卜相続につき)	午.11	春松より善徳迄十一人→上林六兵衛・上林又兵衛
532	覚 (橋姫御壺等茶料請取)	未. 5	上林又兵衛内吉田六左衛門→上林春松老
533	乍恐奉願口上覚 (在茶師差留につき)	申. 3	上林春松→西尾富之助
534	覚 (富田御用につき)	申.11.18	阿州京役所→上林春松
535	積り書 (大工手間代等)	1. 5	万屋浅吉→上林春松
* 536～538 巻込一括			
536	覚 (紙代等)	5.14	原田平入→上林春松
537	覚 (茶料目録カ)		高橋寿三→上林春松
538	(茶料目録カ)		→上林春松老
539	覚 (銀子勘定)	5.16	吉田六左衛門他→上林春松老
* 540～542 包紙一括			
* 540・541 巻込一括			
540	阿部祐右衛門他書状 (御茶料につき)	12.28	→上林春松
541	(金銀勘定書)		
542	祐右衛門他書状 (板東割済金皆済につき)	12.28	→春松
543	(大坂陣につき書状)	12	偽書カ
544	乍憚口上之覚 (金子拝借につき)		
545	乍恐奉願候口上 (滞茶料につき)		上林春松→樋口源左衛門
546	奉拝借金子之事 (茶料)		上林春松→根来忠作
547	覚 (金子勘定)		森半
548	(銀子借用願書)		上林味卜→松村 [ ]
549	(前中納言不例につき書状控)		(端裏書)「尾」
550	親類書		上林味卜
551	江戸出火ニ付川越様御長屋御類焼ニ付御機嫌伺書状左之通		包

番号	資料名	年月日	備考	
484	覚（将軍御目見につき）	宝暦12. 11	辻善徳他 10 名→上林内記・上林門太郎	
485	乍恐奉願候（御救）	宝暦13. 8	上林春松	
486	讓申御赦免屋敷事	宝暦13. 12	讓主上林春松他→藤屋二兵衛	
487	讓り証文之事（裏屋敷）	宝暦14. 4	讓り主上林春松他→永田七郎右衛門	
488	乍憚奉願候口上（御花島煎茶料につき）	明和 7. 2	上林春松→岩田甚作	包
489	一札（不通養子につき）	明和 9. 2	中村木屋六兵衛他→上林春松	
490	讓申菌畑之事	明和 9. 3	橋本町権左衛門→上林春松	
491	（御用仰付につき願書）	安永 3. 8	上林春松→西尾富之助	前欠
492	上納仕銀子之事	安永 7.11. 22	御物御茶師九人之口上林味卜→宝賀山城守他	
493	乍恐返答書（銀子出入につき）	安永 9. 8. 7	御物御茶師上林味卜→御奉行様	
494	一札（借用地面につき）	天明 4.①. 10	橋本町権左衛門→上林春松	
495	覚（拝借茶料勘定）	天明 4. 8		
496	添証文之事	天明 6. 12	上林春松他→川端道喜	
497	乍恐奉願口上之覚（茶料拝借につき）	寛政 4.②	上林秀松・上林春松→鈴江貞羽他	
498	覚（祝儀銀受取につき）	寛政10. 5	上林春松→安藤春作老	
499	口上書（茶取次交代につき）	寛政13. 2	上林春松→二宮羽元他	
500	一札（阿淡茶御用につき）	文化 6. 12	山上幸二他→上林春松老	
501	臨時御用御茶料請取手形	文化 8	上林春松・尾崎坊有庵→末永柳慶老他	
502	乍恐奉願候口上（御茶御用差止につき）	文化 10. 8	上林春松→鎌田三郎大夫	
503	五月五日御上着献立（御茶壺）	文化14. 5. 5		
504	（辻善徳につき差紙）	（文政 3）.1. 25	上又兵衛・上六郎→御物年行事中	包
505	（茶師養子につき廻状）	文政 3. 6. 22	御物年行事→御物各様	
506	乍恐奉願上候口上書（養子につき）	文政 3. 7	上林春松→上林六郎・上林又兵衛	
507	乍恐奉願上候口上書（養子につき）	文政 3. 7	上林春松→上林六郎・上林又兵衛	
508	役割（御茶壺）	嘉永 5		
509	差入申一札之事（借金）	安政 5. 8	近江屋清助→上林・佐野	
510	覚（臨時買上茶料）	寅. 5		
511	積り書（大工手間代等）	卯. 1	大工正兵衛→上林久印	
512	（壺等渡し状）	卯. 5. 12	星野→御宿	
513	御召新御壺御茶入日記之写	卯. 5	上林春松	
514	奉願口上之覚（御茶好みにつき）	辰. 6. 21	上林春松→井内祭徳他	
515	乍憚口上書（春松病気につき）	辰. 7	上林春松親類惣代御通御茶師永田七郎右衛門→阿州御役所御役人中	
516	板倉周防守様御茶料	辰. 8	上林春松→西田直之進	
517	乍恐奉願候口上（御茶御用につき）	辰. 8	御茶元御茶師上林春松→福田周意他	
518	御願申上候口上之覚（茶料につき）	辰. 9	河村宗順・上林春松→上松休濤他	

番号	資料名	年月日	備考
452	覚 (金子勘定)	8. 17	もり半→上林春松
453	覚 (金子勘定)	10. 17	もり半→上林春松
454	覚 (金子勘定)	11. 20	もり半→上林春松
455	覚 (金子受取)	12. 26	富永□兵衛→上林春松
456	(諸入用勘定)		秀→久印
457	(元利皆済受取書)	子. 10	
458	(元利皆済受取書)	丑. 7	
459	覚 (江戸諸方届先につき)	辰. 6	上林平入
460	覚 (銭受取)	5. 5	竹田□屋□藏→旦那
461	上林味卜書状	5. 10	→平尾十兵衛
462	口上 (若州御茶詰につき)	5. 12	八嶋徳庵→上林味卜
463	長井貞甫書状	5. 14	→上林味卜
464	覚 (金高書付)		→上林平入
465	(御物仲間当番書上カ)		
466	松平喜八郎様御茶料滞差引勘定書 (包紙のみ)		
467	御数寄方京都御旅館		
468	文化五辰年平入分 (付箋)		
469	当冬入用高 (諸入用見積書上)・借財高		
470	(御頭様用茶代金書付)		
471	(用事書付)		
* 472 ~ 562 こより一括			
* 472 ~ 474 卷込一括			
472	(宇治御茶師拝借銀証文写)	寛文 2 ~ 延宝 2	
473	請取申銀子之事 (宇治茶師拝借銀)	寛文 1.12. 5	菱木次左衛門他→宇治御茶師中
474	請取申金子之事 (御物茶師拝借金)	寛文 11.12. 5	永田伝左衛門他→宇治御物御茶師中
475	乍恐奉願口上之覚 (御茶料先借)	正徳 3.10.18	上林春松→長尾丹治
476	奉願口上之覚 (茶料新銀につき)	享保 5. 7.25	上林春松→荒木源左衛門
477	乍恐奉願口上之覚 (拝借銀につき)	享保 11. 9.19	上林春松→井村七郎左衛門
478	乍恐口上之覚 (太守様御目見につき)	享保 13. 8	上林春松→麻田新五右衛門 (端裏書)「土州へ願書控」
* 479・480 卷込一括			
479	乍恐奉願上候口上之覚 (茶料拝借)	元文 5. 8	上林春松→林九兵衛
480	由緒書 (阿波)		上林春松
481	覚 (台徳院様御書等)	寛延 1. 11	
482	乍恐以書付奉願上候 (拝借銀)	宝暦 4. 2	上林春松→山本弥次右衛門
483	乍恐以書付奉願候 (御茶料差支につき)	宝暦 8. 4	上林春松→山本弥次衛門

番号	資料名	年月日	備考	
418	覚 (金子等受取)	5. 15	藤沢宅四郎→上林味卜	
419	小倉村木下吉左衛門書状	6. 3	→上林味卜	
420	口上 (荷物目方につき)	6. 16	七郎右衛門→味卜	
421	(むしろ等数量書付)			
422	(御通茶師名書上)			
423	(御通茶師名書上)			
424	廿一日朝 (用事書付)			
425	御宿荷組手控 控 (御茶壺)		辻善貞	横
426	谷村丹後出覚帳 (入金高書付)	辰. 7. 9	上林春松久印	横半
427	初日御物中勤方 御登り壺一式 手控覚			横半
* 428 ~ 443 卷込一括				
428	奉願上候口上書 (拝借銀)	嘉永 5.11. 1	林味卜他→紀伊様御貸付所御役人中	
429	覚 (銀子受取)	子. 5. 17	もり半→上林春松	
430	覚 (金子受取)	子.11. 16	もり半→上林春松	
431	覚 (金子受取)	丑. 3. 17	もり半→上林春松	
432	覚 (金子受取)	丑. 3. 17	もり半→上林春松	
433	覚 (金子受取)	丑. 4. 16	森半→上林春松	
434	覚 (金子勘定)	丑. 4. 19	もり半→上林春松	
435	覚 (金子受取)	丑. 5. 16	もり半→上林春松	
436	覚 (金子勘定)	2. 17	もり半→上林春松	
437	覚 (金子勘定)	5. 17	もり半→上林春松	
438	覚 (金子受取)	6. 17	森半→上林春松	
439	覚 (金子勘定)	6. 17	もり半→上林春松	
440	覚 (金子勘定)	12. 17	もり半→上林春松	
441	(宿入用等書付)			
442	(諸入用書付)			
443	某書状			
* 444 ~ 456 こより一括				
444	覚 (金子勘定)	子. 7. 17	もり半→上林春松	
445	覚 (金子受取)	子. 9. 16	もり丁半右衛門→上林春松	
446	覚 (金子勘定)	丑. 1. 17	森半→上林春松	
447	覚 (金子受取)	丑. 1. 17	森半→上林春松	
448	覚 (金子受取)	丑. 2. 18	もり半→上林春松	
449	鈴木源左衛門他書状	6. 13	→上林平入	
450	覚 (金子受取)	6. 29	三つ星屋藤兵衛→上林春松	
451	覚 (飯代受取)	7. 5	うお屋瀬七→上林春松	

番号	資料名	年月日	備考	
385	寅年献立帳	寅		横
386	御金仕分帳 (御茶壺)	卯. ④	上林平入番	横
387	(御宿用道具記録カ)	辰		横
388	未年御物御壺 (壺名等書上)	未		横
389	江府年始状御名前帳	戊	上林久	横
390	十久勘定帳	亥. 6下旬		横
391	乍憚口上之覚 (茶師困窮につき)	亥. 9	御茶師中→上林又兵衛	横
392	御荷物御名前書 控 (御茶壺)		辻善貞	横
393	御荷物御名前書		長茶宗味	横
394	御宿用青物肴干物入用覚		辻	横
395	御宿荷組手控			横
396	御荷物御名 [			横
397	御宿諸入用凡書抜			横
398	臨時御詰上候ニ付 (諸入用)			横
399	辰年御茶料相渡候控			横
400	御頭様御暇乞進物			横
401	今日御着御三方様御献立			横
402	(御宿用道具記録)			横
403	(入用物書上)			横
404	(諸入用勘定帳)			前欠 横
405	(人別銀高書上)			横
406	某書状下書	4	→中村春斎カ	
407	上林春松書状	4	→山本道伝カ	
* 408 ~ 471 こより一括				
408	尾州御壺年番悲番御袋組合せ之趣御内々被仰渡則此帳面ニ記ス			豎
409	天保□の□頃よりよみ侍るを景□宗匠あるは直好宗匠点し給ひけるを書とめおきぬ			和歌集
			秀元	豎
410	万次郎様分酉年より午年迄御茶料高并金銀請取控	元文 3.12		横
411	大廻し入日記 (茶料書等届先書上)	元治1.10	上林久印→池内栄蔵	横
412	未十二月勘定	未. 12	年行事	横
* 413 ~ 424 卷込一括				
413	申十二月勘定	申. 12		横
414	申年仲々間用覚 (諸入用)	申		横
415	覚 (茶道具)	丑. 5	打田	
416	四番御壺御茶入日記	辰. 6	上林春松	
417	六番御壺御茶入日記	辰. 6	上林春松	

番号	資料名	年月日	備考	
351	御宿之記録 (御茶壺)	文化 4		豎
352	仲間用記録	文化 8. 1	秀正	豎
353	臨時御用御茶入日記之写	文化12. 10	紹口所持	豎
354	御宿之記録 (御茶壺)	文政 1. 5	秀正	豎
355	阿州年中記録 養子家督願書諸留	文政 3. 7	秀信	豎
356	阿州年中記録	文政 5. 9	上林久	豎
357	尾公御物中年 [	文政 5		356・357 一綴 豎
358	本願ニ相添江名前訳書并証拠物 [ ] 書 (茶師出入)	天保 7. 1		豎
359	乍恐奉願候口上 (茶師身分につき)	天保 13. 3	拾壹人→御奉行様	[ろ印] 豎
360	奉願候口上 (茶師身分につき)	天保 15. 5	御物・御袋・御通御茶師中→御奉行所	[へ印] 豎
361	(茶師身分につき願書趣意書上)	寅. 4		[に印] 豎
362	(茶師身分につき事由書上)			[は印] 豎
363	(茶入日記等諸家勤方控)			豎
364	口上之覚 (御用由緒につき)	享保 16. 1	上林春松→津田与一右衛門	横
365	秀利家督濟ニ付為祝到来品物覚			横
* 366 ~ 407 紐一括				
366	酉年より午年迄御茶料高并金銀請取控	内控		
		元文 3. 12	京都御屋敷へ差出候控	横
367	御家督案文 (尾張)	宝暦 11. 7. 28		横
368	古拝借未年写 壹ヶ年分	明和 6. 11		横
369	証文之控帳 (金子借用)	天明 5. 1	→板東弥助	横
370	御金仕分帳 (御茶壺)	寛政 6. 5	辻善徳	横
371	(尾州御壺記録綴)	文化 10 ~ 12		横
372	借用物覚帳 (御茶壺)	文化 14. 5	上林味卜 九冊之内	横
373	間取道具控帳 (御茶壺)	文政 1. 5	上林春松	横
374	御宿用座鋪廻り見結帳	文政 10. 5	辻季賢 道具記録	横
375	十字控帳	文政 11. 1	上林久印	横
376	魚類注文帳	文政 11	上林春松	横
377	御荷物御名前書	天保 10	上林味卜	横
378	御用御宿入用諸払帳	天保 12. 5	上林平入	横
379	大回シ馬共荷物番付茶元帳	嘉永 2. 10	上林久内大沢	横
380	諸 [ (出入先挨拶回り記録)	嘉永		横
381	諸家様御茶料高并買物之控	安政 3. 11	上林久	横
382	子年御宿用人足方	子	さしき六兵衛	横
383	(茶師仲間入用勘定書上)	丑. 7		横
384	御金仕分帳 (御茶壺)	寅. 5	上林味卜	横

## 上林春松家文書目録 2

平成 16 年に刊行した『収蔵文書調査報告書 6 上林春松家文書』につづき、上林春松家文書を紹介する。前回目録を作成した文書群は、すでに所蔵者により一部整理作業が進められていたため、既刊の目録とは少し体裁を異にしていた。今回目録化をはかったものはまったく手つかずであったため、他の報告書同様の方法で整理を行った。

### ■凡 例

番 号： 原則として形状別・年月日順に付与した。前回に続き 351 番から。

年月日： ①など、数次を○で囲ったものは閏月をしめす。( ) 内は推定。綴など複数の年記を持つものは最も早いものを記した。

備 考： 上記以外の情報を記す。まず、差出人→宛名を記し、その他適宜、文書の内容・状態・形状などを記した。形状は右端に、縦帳は「縦」、横帳は「横」のように略記した。記入の無いものは一紙文書である。また「包」は包紙、「封」は封筒入りのもの。「版」は印刷物をしめす。

○ 文書に付したラベルは右のとおりで、2 段目の数字は整理番号、最下段の数字が目録に記載した番号である。

上林春松家文書
1
351

### ■摘 要

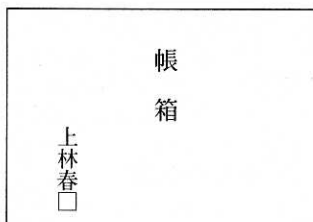
点 数：393 点

年 代：寛文 1 年 (1661) ~ 慶応 2 年 (1866)

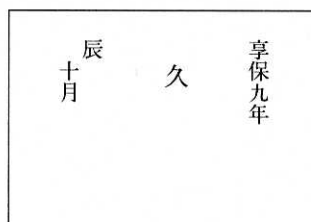
概 要： 上林春松家に伝来した文書。当家は、江戸時代に宇治茶頭取および宇治郷などの代官を勤めた上林家の一系統である。茶師仲間・御物茶師の一員として幕府御用を勤めたほか、尾張名古屋・徳川家、阿波徳島・蜂須賀家など大名家と取引があった。維新後、同様の茶師の多くが没落するなか、茶業経営を継続し現在にいたる。また、同家に残された資料を活用し宇治の茶業と上林家の概要を紹介する上林記念館を設置・運営されている。

今回目録化をはかった文書は、上記の幕府や大名家との取引に関するものが大部分を占める。小さな木箱（縦 30cm × 横 38cm × 高 38cm）に納められており、その蓋上と身の底裏の部分に下記の墨書が見られる。底裏の「久」は、春松家をあらわす符号である。

(蓋上)



(身底)



「収蔵文書調査報告書」改め  
収蔵資料調査報告書

収蔵文書調査報告書 1	「白川金色院」と恵心院	1998年(平成10)
収蔵文書調査報告書 2	笠取地域の古文書	1999年(平成11)
収蔵文書調査報告書 3	上林三入家文書	2000年(平成12)
収蔵文書調査報告書 4	宇治上神社文書	2001年(平成13)
収蔵文書調査報告書 5	巨椋池漁師仲間文書	2002年(平成14)
収蔵文書調査報告書 6	上林春松家文書	2004年(平成16)
収蔵文書調査報告書 7	白川・藤川家文書	2005年(平成17)
収蔵資料調査報告書 8	戦争関係資料	2006年(平成18)
収蔵資料調査報告書 9	上林春松家文書 2	2007年(平成19)

収蔵資料調査報告書 9 上林春松家文書 2

2007年(平成19) 3月31日

編集・発行 宇治市歴史資料館

〒611-0023

宇治市折居台1-1

TEL (0774) 39-9260

FAX (0774) 39-9261

E-mail : shiryoukan @ city.uji.kyoto.jp